

MeBio 数学テキスト

東進数学コンクール
2017年7月

—問題と解答—

第 1 章

問題

§ 1 問題

東京出版発行の「大学への数学」の裏表紙内側に、毎月「東進数学コンクール」が掲載されています。高校生向けの超難問ですが、数学的にも深い意味を持つものばかりで、出題者の能力に感心するばかりです。2017年7月号の問題は次の通りでした。ほったらかしにしておくとも完全に忘れてしまうので、メモを残すことにします。

東進の問題 1-1-1 どのような正の整数 a, b, c と 2 以上の整数 n を用いても $a^n + b^n + c^n$ と表せない正の整数が無限個存在することを示せ。

第 2 章

解答

§ 1 最初の発想

指数部分 n に制限はないのだから, mod を考えたりすることにより実際に $a^n + b^n + c^n$ の形に表せない数を無限個構成するのは難しいだろう. そういう場合, N 以下で $a^n + b^n + c^n$ の形に表せる自然数の総数が N よりずっと少ないという形で示すことになると思われる. ただし 3 はすべての n に対し $3 = 1^n + 1^n + 1^n$ と表されるので, 面倒を省くため 3 より大きい数に限定して考えることにする. やってみよう.

$a^n + b^n + c^n$ の形に表せる 3 より大きい自然数の集合を S_0 と置く.

$$S_0 = \{m \in \mathbb{N}_{>3} \mid m = a^n + b^n + c^n \text{ for } \exists a \in \mathbb{N}, \exists b \in \mathbb{N}, \exists c \in \mathbb{N}, \exists n \in \mathbb{N}_{\geq 2}\}$$

$|\mathbb{N}_{>3} \cap \overline{S_0}| = \infty$ をいえばよい.

N を (十分大きな) 自然数とする. S_0 の元で N 以下のものの集合を $S_0(N)$ で表す.

$$S_0(N) = \{m \in S_0 \mid 3 < m \leq N\}$$

示したいのは $\lim_{N \rightarrow \infty} ((N-3) - |S_0(N)|) = \infty$ であるが, $|S_0(N)|$ を評価するのは難しいであろう. そこで m そのものではなく (a, b, c) の組を考える. この組の数が十分小さいのであれば証明できたことになる.

2 以上の自然数 n と (十分大きな) 自然数 N に対し

$$T_n(N) = \{(a, b, c) \in \mathbb{N} \times \mathbb{N} \times \mathbb{N} \mid 3 < a^n + b^n + c^n \leq N\}$$

と置く. $(1, 1, 1) \notin T_n(N)$ だから a, b, c のどれかは 2 以上であることに注意しておく. $T_n(N)$ から $S_0(N)$ には $\varphi_n(a, b, c) = a^n + b^n + c^n$ という自然な写像が存在する. そして

$$\bigcup_{n=2}^{\infty} \varphi_n(T_n(N)) = S_0(N)$$

が成り立っている. 従って

$$|S_0(N)| \leq \sum_{n=2}^{\infty} |T_n(N)|$$

右辺は無限和の形をしているが, 実際は有限和である. a, b, c のいずれかは 2 以上だから $2^n \leq N$ つまり $n \leq \log_2 N$ でなければ $T_n(N) = \phi$ となるからである.

そこで $2 \leq n \leq \log_2 N$ をみたく n を固定する. a は $1 \leq a^n \leq N$ を満たさないといけないから $1 \leq a \leq N^{\frac{1}{n}}$ で

ある. b, c も同様だから $|T_n(N)| \leq N^{\frac{3}{n}}$ が成り立つ. 以上より

$$\begin{aligned}
 |S_0(N)| &\leq \sum_{n=2}^{[\log_2 N]} |T_n(N)| \\
 &\leq \sum_{n=2}^{[\log_2 N]} N^{\frac{3}{n}} \\
 &\leq N^{\frac{3}{2}} + \int_2^{\log_2 N} N^{\frac{3}{x}} dx \\
 &= N^{\frac{3}{2}} + \int_{\sqrt{N}}^2 t^3 \cdot \frac{-\log N}{t(\log t)^2} dt \text{ *1} \\
 &= N^{\frac{3}{2}} + \log N \int_2^{\sqrt{N}} \frac{t^2}{(\log t)^2} dt \\
 &\leq N^{\frac{3}{2}} + \frac{2^2}{(\log 2)^2} + \log N \int_3^{\sqrt{N}} \frac{t^2}{(\log t)^2} dt \text{ *2} \\
 &\leq N^{\frac{3}{2}} + 9 \log N + \log N \int_3^{\sqrt{N}} t^2 dt \text{ *3} \\
 &= N^{\frac{3}{2}} + 9 \log N + \log N \left[\frac{t^3}{3} \right]_3^{\sqrt{N}} \\
 &= N^{\frac{3}{2}} + 9 \log N + \frac{1}{3} N^{\frac{3}{2}} \log N - 9 \log N \\
 &= N^{\frac{3}{2}} + \frac{1}{3} N^{\frac{3}{2}} \log N
 \end{aligned}$$

しかしこれでは $|S_0(N)| < N$ という結論は得られない. そもそも最初の項 $N^{\frac{3}{2}}$ が登場した時点で終わっている. 考え直す必要がある.

§ 2 $n = 2, 3$ は mod で考える

n が素因数 p を持つ場合, $n = pq$ として $a^n + b^n + c^n = (a^q)^p + (b^q)^p + (c^q)^p$ であるから $T_n(N) \subset T_p(N)$ である. 従って先程の n としては素数だけを考えればよかったことになる.

$$\bigcup_{2 \leq p, p:\text{prime}} \varphi_p(T_p(N)) = S_0(N)$$

先程の評価は粗すぎたので, 今回は $p \leq 3$ の部分と $p \geq 5$ の部分を分割して, 次のように計算してみる.

$$|S_0(N)| \leq |\varphi_2(T_2(N)) \cup \varphi_3(T_3(N))| + \sum_{5 \leq p, p:\text{prime}} |T_p(N)|$$

つまり $a^2 + b^2 + c^2$ または $a^3 + b^3 + c^3$ の形で表せる数は (a, b, c) の組ではなく表される数次体で評価し, 5以上の素数 p に対して $a^p + b^p + c^p$ の形で表せる数は (a, b, c) の組の数で評価する. それで本当にうまくいくのかやってみよう.

*1 $N^{\frac{1}{x}} = t$ つまり $x = \frac{\log N}{\log t}$ と置換している. $x: 2 \rightarrow \log_2 N \iff t: \sqrt{N} \rightarrow 2$ である.

*2 関数 $\frac{t^2}{(\log t)^2}$ は $1 < t < e$ で単調減少, $e < t$ で単調増加であり, $\frac{2^2}{(\log 2)^2} \doteq 8.325, \frac{3^2}{(\log 3)^2} \doteq 7.457$

*3 $t \geq 3 \implies \log t \geq 1$ だから分母を無くした方が大きい.

補題 2.1 a, b, c を自然数とする.

- (1) $a^2 + b^2 + c^2 \not\equiv 7 \pmod{8}$
 (2) $a^3 + b^3 + c^3 \not\equiv 4, 5 \pmod{9}$

証明

- (1) $a^2 \equiv 0, 1, 4 \pmod{8}$ よりわかる.
 (2) $a^3 \equiv 0, 1, 8 \pmod{9}$ よりわかる.

□

補題 2.2 M を自然数とし, $N = 2^3 \cdot 3^2 \cdot M = 72M$ と置く. N 以下の自然数のうち $a^2 + b^2 + c^2$ もしくは $a^3 + b^3 + c^3$ と表されるものは, 高々 $70M$ である. つまり

$$|\varphi_2(T_2(N)) \cup \varphi_3(T_3(N))| \leq 70M - 3$$

証明 中国剰余定理より $72M$ 以下の自然数 x のうち $x \equiv 7 \pmod{8}$ かつ $x \equiv 4, 5 \pmod{9}$ を満たすものが $72M \times \frac{1}{8} \times \frac{2}{9} = 2M$ 存在する. これらは $a^2 + b^2 + c^2$ とも $a^3 + b^3 + c^3$ とも表せない. 従って表される数は (1, 2, 3 は除いて考えるので) 高々 $70M - 3$ である.

5以上の素数に関しては前節の方法を使う.

$$\begin{aligned} & \sum_{5 \leq p, p:\text{prime}}^{[\log_2 N]} |T_p(N)| \\ & \leq \sum_{5 \leq p, p:\text{prime}}^{[\log_2 N]} N^{\frac{3}{p}} \\ & \leq \sum_{n=5}^{[\log_2 N]} N^{\frac{3}{n}} \\ & \leq N^{\frac{3}{5}} + \int_5^{\log_2 N} N^{\frac{3}{x}} dx \\ & = N^{\frac{3}{5}} + \int_{\sqrt[5]{N}}^2 t^3 \cdot \frac{-\log N}{t(\log t)^2} dt \\ & = N^{\frac{3}{5}} + \log N \int_2^{\sqrt[5]{N}} \frac{t^2}{(\log t)^2} dt \\ & \leq N^{\frac{3}{5}} + \frac{2^2}{(\log 2)^2} \log N + \log N \int_3^{\sqrt[5]{N}} \frac{t^2}{(\log t)^2} dt \\ & \leq N^{\frac{3}{5}} + 9 \log N + \log N \int_3^{\sqrt[5]{N}} t^2 dt \\ & = N^{\frac{3}{5}} + 9 \log N + \log N \left[\frac{t^3}{3} \right]_3^{\sqrt[5]{N}} \\ & = N^{\frac{3}{5}} + 9 \log N + \frac{1}{3} N^{\frac{3}{5}} \log N - 9 \log N \\ & = N^{\frac{3}{5}} + \frac{1}{3} N^{\frac{3}{5}} \log N \end{aligned}$$

従って $N = 72M$ に対し

$$\begin{aligned} |S_0(N)| &\leq |\varphi_2(T_2(N)) \cup \varphi_3(T_3(N))| + \sum_{5 \leq p, p: \text{prime}} |T_p(N)| \\ &\leq 70M - 3 + N^{\frac{3}{5}} + \frac{1}{3} N^{\frac{3}{5}} \log N \\ &= \frac{70}{72} N - 3 + N^{\frac{3}{5}} + \frac{1}{3} N^{\frac{3}{5}} \log N \end{aligned}$$

が得られ, $N = 72M$ の形の N に限定した場合

$$\lim_{N \rightarrow \infty} ((N - 3) - |S_0(N)|) \geq \lim_{N \rightarrow \infty} \left(\frac{2}{72} N - N^{\frac{3}{5}} - \frac{1}{3} N^{\frac{3}{5}} \log N \right) = \infty$$

が証明された. $(N - 3) - |S_0(N)|$ は N に関して広義単調増加なのだから, 問題は解決したことになる.